

# ロボ関連で新会社

## ベクトル イベント向け提案



案内用ロボ  
など投入

を一般向けに提供開始する。ロボット関連の営業・製造を管轄する新会社を立ち上げる予定。リー・マヌカンのほか、別デ・ザインの「コンシェルジュ」、見守りロボット「ミューモ」、電動車いす「チョイカ」などをラインアップ。既存の自動車業界向けデザイン事業で培った



想定。初年度は1000台近くの出荷を目指す。

ノウハウを生かし、カラフルで曲線を多用した親しみやすい外観にしている。小山社長は「ロボットを怖くないと感じさせるためにデザインの方

社の新  
が不要  
が短縮  
ークの  
振り子  
駄な動  
生産性  
Tok

よでは200トの機種で複雑な形状の金型加工を実績し、効果が分かりやすい形で見てもらう」

「独自の稼働管理システム「コムトラックス」は海外にも対象地域を広

リンピック・パラリンピック関連の需要で堅調だ。海外は北中米の自動車関連が好調なうえ、今は踊り場にある東南アジアも15年後半には回復すると見られる」

「国内は自動車に加え震災復興や20年の東京オ

# 性アピール

「ファイバーレーザー」  
「米国やメキシコ、カナダ、中国、タイ、インドネシアで利用できる。

海外とは時差や言葉の問題に加え、現場が見えない不安がある。品番ごとの生産状況の把握で生産管理に生かせる。さらにトラブル対策を想定した

「ファイバーレーザー」  
加工機やプレスブレーキの変化は。

加工機は出力3キロワットの機種を追加した。レーザービームの改良で発振効率を向上、省エネルギー性を高めた。プレスブレーキは自動曲げ補正機能を

「ベトナムに現  
ヤンマー ベト  
漁船製造の現地法  
ンマーポートマニ  
クチュアリングベ  
ム」(ピンディン  
新設した。漁業者  
効率化に寄与する  
繊維強化プラスチック  
(FRP)製漁船と  
ソリューションサー  
を提供する。中期的  
業員数を約100人  
やし、約20億円の売  
をを目指す。

◆助成対象者を募  
谷川 熱技術振興  
(大阪市西区、06  
444・2120)  
炉や燃焼装置など熱  
の基礎研究、実用化  
に対する助成事業で  
学や研究機関、団体  
から助成対象者を募  
る。第35回となる2  
5年度も、約10件に  
1300万円程度を助  
する。対象の研究期間  
10月から1年以内。締  
めの締め切りは7月17  
で、9月上旬に助成案  
決定する。

## 記者の目

大型の  
レス機を中  
心に海外に  
納入する事  
例が増え、  
アフターサ  
ービスの重要性が増し  
ている。海外は3直体制  
で24時間稼働の工場  
も多く、速やかなトラ  
ブル対応が必要だ。こ  
哲寛)

総合力で勝負

大型の  
レス機を中  
心に海外に  
納入する事  
例が増え、  
アフターサ  
ービスの重要性が増し  
ている。海外は3直体制  
で24時間稼働の工場  
も多く、速やかなトラ  
ブル対応が必要だ。こ  
哲寛)

のたため稼働管理システ  
ムの対象地域拡大に加  
え、北中米や東南アジ  
ア中心にサービス拠  
点、要員を拡充する方  
針。生産性向上だけで  
なく、メンテナンス性  
向上につながる機能、  
サービスなどソフト面  
も含めた総合力で勝負  
に出ている。

(金沢支局長・市川  
社長) 考えた。